



## Change! 2022 ニュース

No. 19

Change! 2022 推進委員会 2021. 1. 15 発行

### ▼ 会員増強に思う

#### 「インドのことで考えたこと」

直前アジア太平洋地域会長

田中 博之 (東京多摩みなみ)



「国際会長ニュース」をお読みいただいていますでしょうか？ 12月27日にワイズドットコムでご案内した「国際会長ニュース」の1月号に、インドでの会員増強の記事が掲載されています。

インド地域・南インド区の西部では、国際協会の主導

する9月1日から12月9日までの「100日間会員増強キャンペーン」の取り組みの成果として、12月8日のワイズメンズクラブ国際協会創設者のポール・ウィリアム・アレキサンダーの誕生日に、5クラブで合計104名の新入会員の入会式が行われました。西インド部の既存のメンバー数は、約300名ですから、約30%の会員が1日で増えた訳です。インド地域会長に、この成果の理由を尋ねたところ、インド地域では、会員増強の施策として、昨年度からYMGF (Y's Men General Forum: ワイズ一般フォーラム) の開催に力を入れていること、および西部部長の目標設定、目標達成に向けての熱意、リーダーシップが挙げられました。

YMGF とは部主催の新入会員候補者向けフォーラムで、各クラブが5~10名程度の入会候補者を誘って、複数クラブ合同でワイズのオリエンテーションを行い、会員となることの意義、楽しさを知ってもらう場で、西部ではこれを大いに活用したということです。

インド地域全体でも、2018年8月には7,735名だった会員が、2020年2月には2,348名プラスの10,083名に増えています。これは、会員数がインド地域の約11%の東日本区にあてはめると、1年半で258名入会者があったこととなります。もちろん、国情やワイズを取り巻く環境は、インドと日本では異なりますが、私たちの会員増強運動のヒントになるのではないのでしょうか？

#### <入会候補者向けのフォーラムを開催する>

Change! 2022 のスタート以来、区や部では種々のフォーラムを行っていますが、その成果を生かし、パワーを外にも向けて、実際の新入会員獲得に向けてのアクションのひとつとして、入会候補者向けのフォーラムを開催してはいかがでしょうか？

#### <それを合同で開催する>

インドでのポイントは、それを部単位で、クラブ合同で開催していることにあります。個々のクラブで開催するのは準備、運営が大変ですが、合同で行えば、適役なスピーカーも得られ、多人数による盛り上がり感も期待できます。また、合同フォーラムに向けて各クラブも入会候補者の発掘に、一層の力が入ると思います。

#### <それをリモートで開催する>

インドでも新型コロナウイルス・パンデミック以降、フォーラムはリモート(Zoom)で開催されました。実際に集まったの会合に比べると制約もありますが、一方で、より多くの入会候補者が気軽に参加できるメリットもあります。パンデミック期間中はもとより、終息後もリモートを利用することにより、セミナーの開催や特に、近くに他のクラブが無いクラブの参加を容易にさせることでしょう。

#### <集中して会員増強に取り組む期間を設ける>

「100日間会員増強キャンペーン」は、国際協会全体での取り組みで、インド以外でも多くの国や区でこの期間、会員増強に特に力を入れて取り組んでいます。期間中に会員増強が行われたクラブに対しては、国際協会から特別の表彰もあります。年度を通じたの取り組みも必要ですが、「100日間会員増強キャンペーン」や区で独自に設定した、特に会員増強に集中して取り組む期間を設けることにより、メリハリが効いて、より成果が現れることもあろうかと思えます。

新しい年の始めにあたって、皆さまそれぞれワイズに対しての夢も描かれたことと存じます。その夢の実現に向けてワクワクとした、希望に満ちた1年となることをお祈り申し上げます。

《国際会長ニュース(日本語版)は、以下に收容されています。 <https://www.ye-east.or.jp/ip-news/> 》

### 《 田中博之さんのプロフィール 》

1953年12月 生まれ  
 2000年 東京クラブ入会  
 2003-2004年 東京クラブ会長  
 2004-2005年 東日本区国際・交流事業主任  
 2005-2007年 東日本区 LT 委員長  
 2007-2008年 東新部部長、アジア地域会計  
 2009-2013年 東日本区 IT アドバイザー  
 2010-2011年 東日本区書記  
 2010-2012年 国際IBC 事業主任  
 2011-2013年 東日本大震災支援対策本部統括  
 2014-2015年 東日本区理事  
 2015-2017年 アジア太平洋地域 IBC 事業主任  
 2016年 東京多摩みなみクラブに移籍  
 2018-2020年 アジア太平洋地域会長、国際議員  
 2020年- 直前アジア太平洋地域会長、国際ASF 事業主任、アジア太平洋地域IBC 事業主任

### ▼ 各部 会員増強事業主査より

#### 「 コロナ禍と会員増強 」

関東東部主査 浅見 隆夫 (東京グリーン)



私がワイズに入会して48年が経ちました。当時、日本区は一つの組織で、理事は全国を飛び回らねばならず負担が大きいことと、きめ細かな活動によってワイズ運動の啓蒙とワイズ組織の社会的認知を得て、より多くの会員を獲得することを目的に、東西二つのリジョンに分かれました。

しかし、バブルが弾け、追い打ちをかけてリーマンショックが起きると、経済的基盤が崩れ、他のボランティア団体(ライオンズ・ロータリーなど)も元気がなくなりました。

その上、少子化による労働力の減少と高齢化が進み、社会不安・政治不信が重なり、ボランティアに取り組む経済的余裕(年金生活者増加)や精神的余裕(向上心)が減少しました。なんとか会員減少の防止策は無いかと、様々な委員会が発足し、模索と努力が軌道に乗り始めたところで、予期もせぬコロナウイルス流行が起き、「みつかる、つながる、よくなっていく」を掲げ青少年の健全なる育成を目指す YMCA 活動を側面から支援し協働していくワイズメンズ組織は、真逆な運営を迫られることとなりました。

具体的には様々なイベントや CS 活動の中止、親睦を深め活力の基となる会合や飲食、そこから生まれる新たな要望に応える企画、これら全てがコロナウイルス感染拡大防止対策に抵触します。

しかし、時の流れは留まることなく流れています。つい昨日まで理解出来ず手の出せなかった Zoom 方式で会議が出来るようになると、経済的・時間的費用が大幅に軽減し、新たな段階に導いてくれましたし、若者も参加しやすくなっています。

コロナウイルス感染が第三のピークを迎えるとのことですが、嘆いているだけでは前進できません。いずれ人類はこの困難を乗り越え、今までと全く違う価値観と手法で、より良い青少年の健全なる育成に向かって踏み出すと確信しています。その日が、新年を迎え一日も早く到来することを願っています。

現在、関東東部では長尾昌男・衣笠輝夫・金丸満雄・柿沼敬喜の歴代部長の熱意とご努力により、千葉ウエストクラブがチャーターされました。その熱気と情熱を継続し、宮田康男茨城 YMCA 総主事に参加していただき、茨城県牛久地区に新たな YMCA とワイズメンズクラブを立ち上げる気運が見えています。皆様方の応援を得て一日も早い実現を目指したいと思っています。よろしく願いいたします。

### ▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)  
 昨年12月には、下記の方が入会されました。(敬称略)

No.	入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	細越 角太	(もりおか)	濱塚 有史

### Change! 2022 卓話の出前いたします！

Change! 2022 推進委員会では、Change! 2022 を分かりやすく解説したパワーポイントを作り、卓話の出前をしております。お申し込みは下記まで。



栗本治郎 Change! 2022 委員長

090-3309-6613 [kurijerk@outlook.jp](mailto:kurijerk@outlook.jp)

## ▼ 第3回 拡大EMC事業委員会 報告

## 会員増強事業主任

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

日時：2020年12月2日(水)

19:00~20:45

場所：Zoom 会議

出席：合計 27 名 (下線は委員長)

《EMC事業委員会=会員増強事業主査》5名

伊藤幾夫(東京多摩みなみ)、札

埜慶一(熱海)、関東東部:浅見隆夫(東京グリーン)、あ  
ずさ部:野々垣健五(甲府 21)、湘南・沖縄部:千葉裕  
子(鎌倉)

《エクステンション委員長》3名

東新部:太田勝人(東京町田スマイリング)、あずさ部:菰  
渕光彦(東京サンライズ)、湘南・沖縄部:辻剛(横浜つづ  
き)

《部長》5名

北海道部:中村義春(十勝)、北東部:南澤一右(仙台青  
葉城)、関東東部:柿沼敬喜(東京グリーン)、あずさ部:  
御園生好子(東京サンライズ)、富士山部:伊藤一芳(富  
士宮)

《Change! 2022 推進委員会》10名(2名は重複)

伊丹一之(東京むかで)、伊藤幾夫(重複)、大川貴久(熱  
海)、栗本治郎(熱海)、中村孝誠(東京サンライズ)、深尾  
香子(東京多摩みなみ)、藤井寛敏(東京江東)、札埜慶  
一(重複)、宮内友弥(東京武蔵野多摩)、山田敏明(十勝)

《オブザーバー》6名

板村哲也(東日本区理事・東京武蔵野多摩)、小原史奈  
子(地域奉仕・Y サ主任、東京たんぼぼ)、小山久恵(東  
日本区書記・東京サンライズ)、小林隆(東日本区事務所  
所長・沼津)、清水弘一(法人化準備事務局、石巻広域)、  
高田一彦(JEF 委員会委員長・千葉ウエスト)

## 【報告】

司会は伊藤幾夫(会員増強事業主任)が担当。板村  
哲也東日本区理事の開会挨拶のあと、Zoom 会議出席  
者の自己紹介。出席リストの順にひとり 10 秒以内で顔  
見せと簡単な挨拶。

議事①は第 2 回拡大 EMC 事業委員会の報告、事前  
に送付した報告書で確認しました。

議事②は「各部でまとめられた会長ヒアリング集計から  
見えてきたもの」と題して、事前に送付したレジュメに  
そって伊藤が発表。

「なぜ会員増強を目指すのか」のレビューで、

1番目にワイズの現状を「1997~2020 会員数と会員平  
均年齢の推移」を表にしたものを説明。会員数は減少、  
平均年齢は増加していることが歴然と見てとれます。

2番目に、今期の会員年代別分布表を提示し、70 歳以  
上が全体の 46.7%を占めていることを確認しました。

3番目に、現状のままていくと「10 年後のワイズは存亡  
の危機もありうる」ことを理解し合いました。

4番目に、「会員が増えない(減る)のは、もっと根本的  
な問題があるのではないか」という問いかけをしました。  
これについては、ワイズの認知度が低い、経費の負担  
感、活動内容が分かりにくい、魅力に欠けるなどがあ  
げられました。

5番目に、各クラブの 2022 年末までの会員目標数につ  
いて、昨年と比べて下方修正したクラブが 23 クラブ  
(▲110名)、上方修正したクラブが9クラブ(+32名)、  
差し引き▲78名となりました。

6番目として、達成目標数の 1,246 名にするためには、  
各クラブが 202 名純増し、各部が新クラブを 2 クラブ  
(北海道部は 1 クラブ)新設することによって、65~78  
名増員、アニバーサリープレゼントで 136~149 名増  
員が必要となります。きびしい数値目標ですが、がんば  
りましょう。

議事③は「コロナ禍にあっても、会員増強が進んでいる  
クラブ」として、甲府 21 クラブ(5 名入会)野々垣健五  
さん、石巻広域クラブ(4 名入会)清水弘一さんに報告  
をいただきました。

議事④として「ワイズ法人化の進捗」について、準備委  
員長の宮内友弥さんから説明をいただきました。今年  
度の代議員会で承認をいただく予定です。

議事⑤として「各部エクステンションの状況」について報  
告がありました。具体的な動きとして、甲府クラブ仙洞  
田安宏さんから、甲府駅北口エリアへの新クラブ設立  
を準備しているとのこと。また、関東東部では、  
2021 年に入ったら牛久地域への新クラブ設立に向け  
て協議を始める予定とのこと。

議事⑥その他として、清水弘一さんから、目標の会員  
増強を図るためには、思い切った施策(入会金免除、  
会費割引、YMCA スタッフは割引会費など)が必要と  
の檄が飛ばされ、勇気をもらいました。

次回第 4 回委員会の開催日時:2021 年 2 月 3 日(水)  
19:00~20:30 Zoom 会議 (偶数月 第 1 水曜日)



## ▼ 東京むかでクラブ ブリテンより

## Change! 2022 アンケート結果に思う

元東日本区書記 櫻井 浩行 (東京むかで)



東日本区誕生から24年が経ち、この間にリーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルス世界的感染と様々な災害が続いている昨今、今や従来の価値観ではどうにもならない社会変化が生じています。

四半世紀を期に大改革をしなければワイズは生き残れないかも知れない！という危機感の中、私が個人的に思うことを述べたいと思います。

『Change! 2022 Action プラン』アンケートの結果と問いに関する私の理解と考えを【 】内に纏めてみました。

## 問1 会員がワイズに求めるものは？

【奉仕と友好】

## 問2 今のままでワイズの将来はどうなるのか？

【変革なくして生き残れないと思う。】

## 問3 ワイズの存続は？

【ぜひ残したいが、東日本区が基本的に改革しなければならない。各クラブに問題を振らず、区が模範を示さなければ残念な結果になると思う。】

## 問4 将来的に期待するクラブ像は？

【各クラブの多様化の前に、東日本区が基本を変革する見本を示すことが重要。その後各クラブは各地域の条件に合った姿に自然に動いていくと思う。】

## 問5 ワイズの諸活動、行事に基督教の儀式(聖句朗読、祈祷、ワイズソング)が必要といますか？

【基督教信者だけでなく、ワイズ運動の趣旨に共感して入会した人々の考えや気持ちを尊重することが重要。宗教度について、例えばワイズ活動では25%、YMCAでは50%、教会では100%と捉えてみてはどうか？ 聖句朗読や祈祷は省略することに賛成。ワイズソングはクラブのシンボル＝テーマソングなので斉唱することは良いと思うが「手を挙げ」の歌詞に合わせて右手を挙げなくても良いと思う。】  
(ナチスを思い起こす違和感・・・との意見を聞いたことがある)

ワイズの良さは、定款にある「性別、人種、信仰、出身国などを理由として会員の地位を拒まれることは無い」に尽きるのではないのでしょうか？ 基督教を軸に設立されたワイズメンズクラブですが、信者以外のメンバーが過半数以上を占める現在、新たに入会されるメンバーの多くは基督教信者でなく、YMCAの理念

に共感して、社会の為に貢献することを期待する人々です。基督教以外の信仰を持つ人々、信仰を持たない人、全ての人々の尊厳を尊重する事が重要であると思います。

食前の感謝も「お集まりの皆さんの宗教の趣旨に合わせて食前の感謝をいたしましょう」ではいかがでしょうか？ 私の場合は「全ての命を頂き生かされていることに感謝いたします、頂きます」です。

(東京むかでクラブ 2021年1月号ブリテンより転載)

## 今のままでワイズの会員は増える！？

東日本区文献・組織検討委員会委員

城井 廣邦 (東京むかで)



ワイズメンズクラブの会員募集で一番大切なことは、ともにこれからの人生を思いきり楽しみながら社会に貢献するコンセプトを示し、一人でも多くの友人、知人に熱く語り、ともに楽しい時を過ごす実感を持っていただく。そして共感された時、

真の仲間となり、会員になる。

ワイズが社会貢献、YMCA 貢献することで、もっと社会から注目される様にアピールし、共感される団体になることが出来なければ、会員は増えるとは思えない。自分たちの理想を追いかけるのではなく、社会を共に豊かにする考えがあり、結果として、私達の理想になれば良い。

全クラブが、何のためにクラブ活動するのかを考えてみることである。もっと、会員を増やすために、一般社会側から見て、期待できる、興味が持てる、そして、やってみたいと思える活動にならなければ、会員は増えない。

むかでの戯言。城井の独り言。

(東京むかでクラブ 2020年12月号ブリテンより転載)

## 「東新部 EMC セミナー」開催

日時：2021年2月20日(土) 13:30～15:30

場所：Zoomによるオンライン・セミナー

発題：1.「ワイズメンズクラブをより魅力的にするために」

石田孝次 Change! 2022 推進委員(東京多摩みなみ)

2.「Change! 2022 - なぜ会員増強なのか！」

伊藤幾夫 区会員増強事業主任(東京多摩みなみ)

参加：当日、定刻に以下をクリックしてご参加ください。

<https://us02web.zoom.us/j/9543557863?pwd=TWxHYlJYMG0vMXNyZWZicFpzY1JUUT09>

事前申込・問合せ：太田勝人 [vic6175@f04.itscom.net](mailto:vic6175@f04.itscom.net)